

◆新カリキュラム（2023年度～）におけるプログラムの位置づけ

大学で学ぶ学生に求められる、広く豊富な教養の修得、さらにさまざまな問題を抱えた現代社会の様相を広い視野で洞察する目を養い、総合的な判断力を培うことを重視する観点から、教養教育科目の**尚絅STEAM区分において、情報科学科目（4単位以上）の履修**を課しています。そのうち、1～2年次に設置した本教育プログラムの「AI社会とデータサイエンス」を、「情報リテラシー」とともに**全学必修科目**として開講しています。（※次頁参照）

さらに、情報システムセンターを、本学の情報教育の**ハード面（ICT環境の整備）とソフト面（情報教育の充実及び連携・接続）を一体的に検討する**部署として位置づけ、本プログラムを統括するとともに、各学類のICTを活用した専門教育科目と連携・接続し、全学的な情報教育の推進をしていきます。

◆教養教育科目

尚絅STEAM<情報科学区分>

◇情報リテラシー（全学必修）
ICTの利用技術だけでなく、情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力を身につけることを目的とした講義と演習を行う。

◆AI社会とデータサイエンス（全学必修）

本教育プログラム

◇情報処理演習
表計算ソフト（Excel）の基礎から中級レベルまでの知識と操作スキルを、演習問題に取り組みながら、習得することを目指す。

◇情報倫理
社会の情報化がもたらす利便性とリスクについて、最新の事例も交えて解説し、日頃の行動に生かせるようにする。

◆専門教育科目

各学類ICT活用科目

人文社会学類 社会調査法、情報収集・分析、統計学、質的調査、地域データ分析 etc.

心理学類 心理学統計法、心理学研究法 etc.

子ども学類 保育・教育マネジメント、子ども学入門・演習 etc.

学校教育学類 知的障害教育論Ⅰ・Ⅱ、LD等教育総論、ICT活用教育実践 etc.

健康栄養学類 健康栄養情報論、健康栄養情報実習 etc.

◆推進部署

情報システムセンター

情報教育の充実

専門教育との連携・接続

ICT環境の整備

教養教育科目「カリキュラム系統図」

全学類共通

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
尚 網 コ ア		キリスト教概論Ⅰ	キリスト教概論Ⅱ						
		尚 網 学							
人文科学		哲 学	倫 理 学	日 本 の 言 語 文 化	日本近代史とキリスト教				
	社会科学	法学概論（日本国憲法）	市 民 教 育	キリスト教と現代社会			福 祉 社 会 論		
			経 済 学 入 門	人 権 論					
			社 会 学 入 門						
自然科学		基 礎 化 学	心 の 科 学	生 活 と 化 学	植 物 の 科 学	生 活 環 境 論			
		健 康 と 栄 養	生 命 の 科 学						
芸術・スポーツ		健康・スポーツA（講義・実技）	芸 術 論	健康・スポーツB（講義・実技）					
		キリスト教と音楽	音 楽 と 表 現						
学際・地域・国際		ユーラシア共同体の構築	日本とアジアの歴史	異 文 化 理 解	東北の歴史と文化	東北の産業と地域社会	異分野コラボレーション演習		
				世 界 の 宗 教 と 文 化	東北の自然環境				
情報科学		情報リテラシー	AⅠ社会とデータサイエンス		情 報 倫 理				
			情 報 処 理 演 習						
コモンベシックス		基礎演習（ライティングを含む）		日 本 語 表 現 法					
		英語コミュニケーション	英 語 リーディング	発 展 リーディング					
		英語ライティング	英会話（リスニング・スピーキング）	資 格 英 語					
		ド イ ツ 語 Ⅰ	ド イ ツ 語 Ⅱ	英 語 で 学 ぶ 文 化					
		フ ラ ン ス 語 Ⅰ	フ ラ ン ス 語 Ⅱ						
		韓 国 語 Ⅰ	韓 国 語 Ⅱ						
		中 国 語 Ⅰ	中 国 語 Ⅱ						
キャリアライフデザイン		キャリアデザインⅠ		キャリアデザインⅡ		キ ャ リ ア ア ッ プ セ ミ ナ ー			
				イ ン タ ー ン シ ッ プ		生 涯 学 習 論			
		チャレンジポートフォリオⅠ		チャレンジポートフォリオⅡ		チャレンジポートフォリオⅢ			